

TOKYO KASEI PRESS

2026
9
Vol.108

学校法人渡辺学園 広報誌 なでしこ

学校法人渡辺学園

140周年記念館

2026 10/24(土)・25(日)

緑苑祭

人をつなぐ専門力
東京家政大学
TOKYO KASEI UNIVERSITY

東京家政大学大学院／東京家政大学／東京家政大学短期大学部／東京家政大学附属女子中学校・高等学校／東京家政大学附属みどりヶ丘幼稚園



つないできた歴史を、未来へ 140周年記念館

2026年 学校法人渡辺学園は
創立145周年へ

つなぐ

渡辺学園創立140周年記念館は、社会課題の解決につながるスキルと創造性をもつ学生を育て、東京家政大学ビジョン150に掲げた存在意義（パーパス）「知と技で自他の可能性を広げ、人がつながる社会の起点となる。」ことを目指し、2026年10月、板橋キャンパスに完成予定です。本記念館は、「つながり」の中で挑戦する空間です。

時代をつなぐ

学生たちは、140年前から受け継がれてきた本学のDNAを現代へ、そして未来の新しい価値へとつなぎ、社会変化を生み出す挑戦をします。

場所をつなぐ

板橋と狭山の両キャンパスをはじめ、国内外のあらゆる場所をつなぎ、それぞれがもつ固有の価値や感性を融合させ、新たな発見を生み出します。

人をつなぐ

学内外、地域、そして国境を越えて、異なる背景や価値をもつ人々をつなぐことで、かかわるすべての人の知と技が互いの可能性を広げます。



新棟のポイント

Point 01

知と技で自他の可能性を広げる場

記念館と広場のすべての空間が、学生の学びを深め、発信し、互いの可能性を広げる場です。館内には、一人で深く思考するエリア、教職員や友人との対話を通して視野を広げるエリア、そして学びをカタチにして表現・発信するエリアが用意されています。多様な背景を持つ人々の知と技が交差し、互いの個性が優しく溶け合うこの場所から、新しい景色が生まれていきます。

Point 02

人がつながる起点

記念館は、多様な人々がつながる空間です。クロスメディアガーデン（8F）と狭山キャンパスのサテライトに設置された、視界いっぱい広がるLEDスクリーンが両キャンパスの学生たちを距離を超えてつなぎ、さらに国内外の様々な人々と交流する起点となります。また、公開講座やシンポジウム、緑苑祭（学園祭）、博物館を訪れる方々を温かく迎える、開かれた場でもあります。

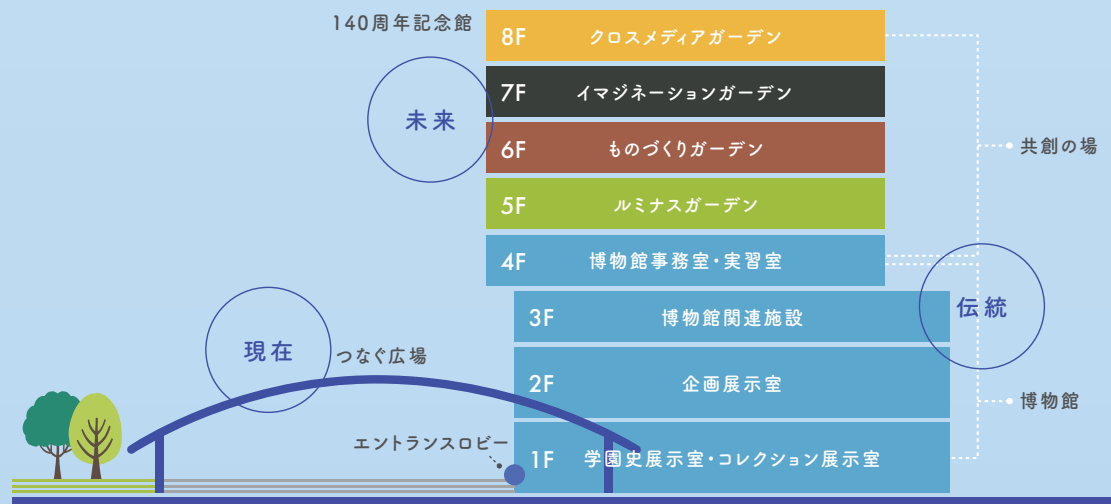
Point 03

学びが広がる起点

記念館の4F～8Fには、多様なニーズに応じて学生や教職員が豊かにつながる、ここならではの空間が広がっています。ものづくりガーデン（6F）やイメージネーションガーデン（7F）で学びをカタチにし、デジタルツールを駆使してアウトプット。さらに、ルミナスガーデン（5F）での対話やつなぐ広場での発信を通じて、個々の学びが有機的につながっていきます。そして、ここから始まる東京家政大学の学びは、世界へと無限に広がっていきます。



5F～8F ギャラリー



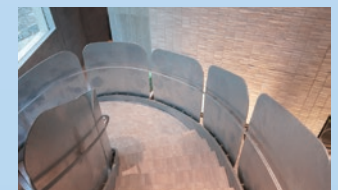
新棟概要

計画名称: 140周年記念館建設事業計画
建築面積: 約2,195.75㎡
延床面積: 約7,536㎡

140周年記念館 階数: 地上8階-40.71m



Close Up!



※2026年7月撮影。
内容は変更となる場合があります。

1F エントランスロビー 学びの始まりを感じるロビー

1F～3F・4F 博物館 ひと、モノ、記憶を紡ぐ

学園史展示室では、1881（明治14）年の創立以来の学園の歩みと、重要有形民俗文化財「渡辺学園裁縫雛形コレクション」を展示します。また、博物館の多彩な収蔵品を紹介するコレクション展示室や、テーマを設けた展覧会を開催する企画展示室も順次公開予定です。展示に加え、デジタルコンテンツの制作をさらに推進し、豊富な収蔵品の魅力を多角的に発信していきます。

2027年3月
プレオープン（学内向け公開）予定！



コレクション展示室イメージ



学園史展示室イメージ



企画展示室イメージ



学園史展示室イメージ

5F ルミナスガーデン 学びが広がる知の広場

個人の学びをつなげ、新たな価値を共創する「知の交差点」です。その日のニーズや気分に合わせてレイアウトが学生の創造力を引き出し、一人ひとりの自分らしい学びを実現します。

6F ものづくりガーデン アイデアを形にするアトリエ

学生のみなさんが授業・自主活動などでの社会課題解決のために「学びをカタチにし、アウトプット」するプロセスを支援する場です。

7F イメージネーションガーデン 表現力を磨く想像・創造の場

学生のみなさんが思い描く様々なイメージを「映像メディアにする」プロセスを支援する場です。2つの「スタジオ」では、学生自身が授業の課題、社会課題プロジェクト、サークル活動あるいは就活で使う動画の撮影などを行い、表現力を磨くことができます。

8F クロスメディアガーデン つながる、広がる学びの体験

「クロスメディアサテライト」では、板橋・狭山両キャンパスをオンラインで結んだ合同授業に、圧倒的な映像体験を通じて参加することが可能です。狭山キャンパスにも「クロスメディアサテライト」を設置しますので授業だけでなくサークル活動やイベントなどキャンパスを超えた学生間の交流もできます。

※2026年7月撮影。内容は変更となる場合があります。

【学科シンポジウム】

10/24㊥

服飾美術学科

12:50～14:20

100年前の雑誌文化
『婦人グラフ』が目指したもの

栄養学科・管理栄養学科・ 栄養科

13:00～15:00

ライフステージ別の時間栄養学
一妊婦さんから施設の高齢者までー

造形表現学科

13:00～15:00

卒業生に聞く：卒業2年目にして、
学生時代からこれまでの
心境の変化、将来の夢を聞く

英語コミュニケーション学科

13:00～16:00

読みを深める読解指導
ー読む・考える・伝えるを
つなぐ授業づくりー

初等教育学科

13:30～15:30

「我が国や郷土の音楽」をどう伝えるか
ー和太鼓ワークショップから
考える地域と学校ー

10/25㊤

児童学科・保育科

10:00～12:30

こどもにとっての「遊び」の意味
～「安心と挑戦の循環を通してこどもの
ウェルビーイングを高める」という
視点から～

心理カウンセリング学科

10:15～12:15

「なぜ、あの人は動いてくれないの？」
～部活から将来の仕事まで、
一生モノの武器になる『組織と経営
(マネジメント)の心理学』～

社会デザイン学環

13:00～15:30

再生循環型社会に必要なこと

文化情報学環

13:30～16:30

国際シンポジウム：
デジタル時代の都市と子どもの空間知

※詳細は学科・学環HPや大学公式Instagramをご覧ください。

大学で何を学ぶのか、
知るチャンス！



FASHION SHOW EVE 2026 ファッションショー

DEPARTMENT OF COSTUME AND CLOTHING SCIENCE

服飾美術学科

2026 10/24㊥・25㊤

1st Open 10:50 Start 11:15

2nd Open 13:20 Start 13:45

3rd Open 14:35 Start 15:00

開催場所

東京家政大学 板橋キャンパス
120周年記念館1階 多目的ホール

チケット情報

10月上旬よりチケット予約開始
緑苑祭当日、120周年記念館2階テラスにて当日券受付

＼詳細はこちら！/
EVE公式Instagram



※写真は2025年「第65回 緑苑祭」の様子です。

学生代表のメッセージ

こんにちは、服飾団体EVEです。
10月に開催される東京家政大学の緑苑祭でファッションショーを開催いたします！EVEのファッションショーは服飾美術学科の学生を中心に、企画から衣装制作、ヘアメイク、演出、広報まで、すべてを学生自身の力で作り上げています。今年も、一人ひとりが試行錯誤を重ねながら、より良いショーを目指して日々活動中です。たくさんの方に私たちの想いや作品を届けられるよう、心を込めて準備を進めています。学生だからこそ生み出せる自由な発想や、一から作り上げるファッションショーならではの魅力を、ぜひ会場でご覧ください。皆さまのご来場を心よりお待ちしております。
家政学部 服飾美術学科3年 O.C.、N.A.

＼板橋キャンパス／

第66回

緑苑祭

開催日時

2026 10/24㊥・25㊤ 10:00～16:00

最新情報はこちら！

※追加情報等を随時更新しています。



WEB



X



Instagram



▲学生支援キャラクター
「りょくくん」



Message

栄養学部 管理栄養学科2年 S.A.



創世前夜、その先へ
昨年度の緑苑祭は悪天候の中、二日間で一人を超える来場者の方にお越しいただきました。当日までの運営にご協力いただいたすべての皆さまに、心より感謝申し上げます。
今年度のテーマは「創世前夜」です。創世は新しい世界や時代が生まれること、前夜はその始まりを迎える直前の時間を意味します。これから始まる出来事に対して不安や期待など様々な感情を抱きながらも、新しい何かを創り出すことで緑苑祭を特別な時間になりたいという思いが込められています。
多くの団体が参加を予定しており、工夫を凝らした様々な展示や発表、販売や体験が盛りだくさんです。
委員一同、皆さまのご来場をお待ちしております！

想いはひとつに、最高の学園祭へ。
緑苑祭実行委員会委員長

※写真は2025年「第65回 緑苑祭」の様子です。



【学科企画】



リハビリの世界を一緒に体験してみませんか？

リハビリテーション学科

演習体験

リハビリテーション学科では、専攻ごとに演習体験を開催します。作業療法学専攻はビーズブレスレッドなどの作業を通じた活動や演習を行い、理学療法学専攻では妊婦や高齢者などの体験を行います。



※写真は2025年「第12回 狭山緑苑祭」の様子です。

子ども支援学科

みんなでつって、みんなで楽しむ「わくわく子どもパーク★」宝探し・的当てといった「からだを動かす遊び」に加えて、スライムやアクセサリなどの「つくる遊び」も盛りだくさんです。



わくわく笑顔になれる遊び場で、私たちと一緒に最高の思い出をつくりましょう！



看護学科

ナースのたまご修行中

看護学科では、手洗いチェッカーによる手洗い体験や臓器パズル・塗り絵体験、モデル人形による赤ちゃん抱っこの体験ができます。



※写真は2025年「第12回 狭山緑苑祭」の様子です。



TOKYO KASEI PRESS

／狭山キャンパス／

第13回

狭山緑苑祭

開催日時

2026 10/25(日) 10:00～16:00

最新情報はこちら！

※追加情報等を随時更新しています。



WEB



X



Instagram



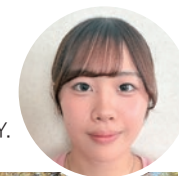
のぞいてみたら、きっと夢中に！
いろんな体験、待ってます！



実行委員活動の様子

Message

子ども支援学部
子ども支援学科2年 T.Y.



「瞬間を一生の思い出に」
今年の狭山緑苑祭テーマは「刻心銘時」この瞬間を心に刻むです。
このテーマには「一年に一度の狭山緑苑祭、この瞬間の時を最高の思い出として心に刻む」という意味が込められています。
私たち狭山緑苑祭実行委員は、開催に向けて約1年間という長い時間準備をしてきましたが、1日開催の狭山緑苑祭は、当日の数時間が一瞬のように感じられます。
この一生に一度の最高の瞬間を実行委員や東京家政大学の学生、近隣の方々、ご来場いただいた皆様とともにつくりあげていきたいと思っています。
ぜひ、狭山緑苑祭にご来場いただき、私たちと一緒に最高の思い出を心に刻みましょう！

想いはひとつに、最高の学園祭へ。
狭山緑苑祭実行委員会 委員長

第13回 狭山緑苑祭

刻心銘時

～この瞬間を心に刻む～



10月25日(日)
10:00～16:00
(最終入場15:30)

東京家政大学
狭山キャンパス

テーマ
刻心銘時～この瞬間を心に刻む～

【学科シンポジウム】



※写真は2025年「第12回 狭山緑苑祭」の様子です。

学科の学びを深く知る、
第一歩に！

10/24(金)

看護学科

10:00～12:00

"Let's Dance ダンスで繋ぐ、地域の輪"
看護学×ダンスで考える「心と体の健康づくり」

10/25(土)

子ども支援学科

10:00～12:00

『保育×医療』

— すべての子どもの生活を支えるために、
“医療とつながる保育者”の養成へ —

リハビリテーション学科

13:00～15:30

東京家政大学から拓くリハビリテーションの未来
— 子ども・スポーツ・国際交流から考える —

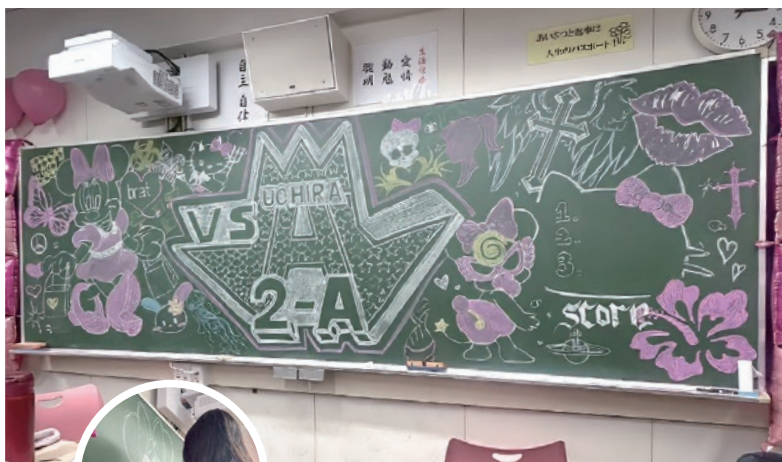
※24日(土)は学科シンポジウムのみの実施となります。
※詳細は学科・学環HPや大学公式Instagramをご覧ください。

一丸となる青春祭
今年の緑苑祭のテーマは、「夏の青さを取り戻せ 爆裂スクールフェスティバル」となりました。緑苑祭は、私たちがとって一年に一度の大事な学校行事となっています。各部活動・各学年の展示やステージでのパフォーマンスがあります。在校生や来場者の皆様笑顔で楽しく過ごせるように、緑苑祭実行委員はもちろんのこと、在校生が一丸となって準備を行っています。また、緑苑祭当日も皆様に楽しんでいただけるように努めてまいります。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

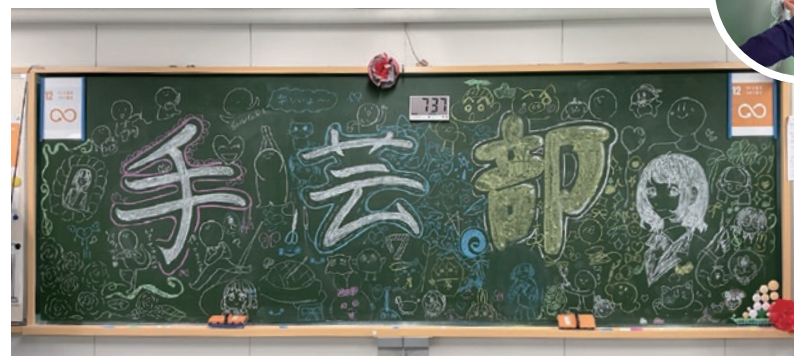
緑苑祭 高校実行委員会 委員長

想いを重ね、緑苑祭を彩る。

想いを描く、
青春の黒板アート



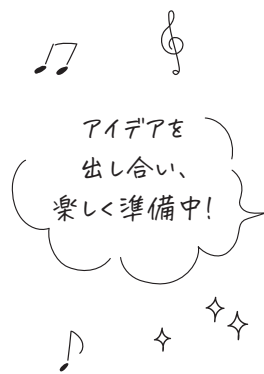
指先を粉だらけにしなが、何度も描き直して完成させた力作の黒板アート



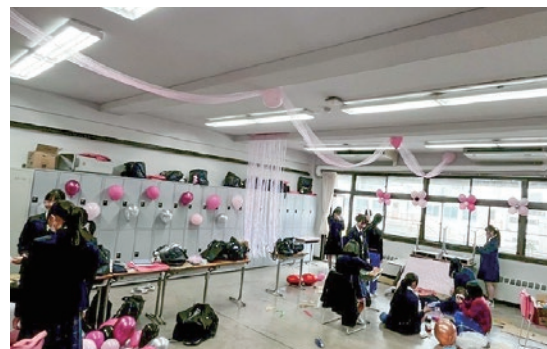
大きな文字で見やすく!!



2人でバランスを確認し合、集中して黒板に向かう様子



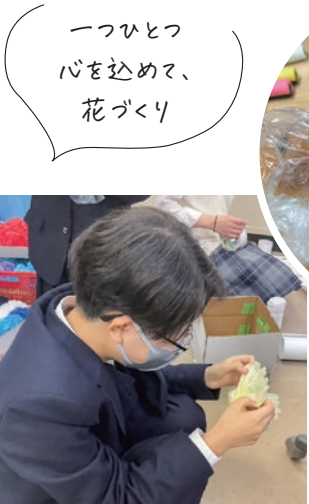
作業を手際よく進めながら、笑い声の途切れない教室



各自が役割を担い、着々と進むクラスの装飾準備



廊下に飾る花紙を黙々と作成中



一つひとつ
心を込めて、
花づくり

花紙が破れないよう慎重に広げる様子



おいしいペンで、
元気を
チャージ!

附属女子中学校・高等学校

緑苑祭

開催日時

2026 10/24(土)・25(日) 10:00～16:00

笑顔と個性が輝く、特別な二日間

今年も、大学と同時開催の緑苑祭が板橋キャンパスで開催されます。生徒たちが工夫を凝らした展示やゲーム、ものづくり体験をはじめ、部活動や有志団体による演奏・演技・演舞など、多彩な企画がキャンパスを彩ります。生徒一人ひとりの個性や日頃の活動の成果に触れられる、笑顔と活気あふれる特別な二日間です。ご家族やご友人と一緒に、ぜひ緑苑祭ならではの楽しいひとときをお過ごしください。



WEB



テーマ
夏の青さを取り戻せ
爆裂スクールフェスティバル

※写真は全て2025年「緑苑祭」の様子です。



黒板アートでお出迎え



ダンボールで1文字ずつ手作したクラスの入り口



床いっぱいに広げた大きなトランプ 絵札の細部まで丁寧に描き上げている様子



装飾の目玉となる車をみんなで作成中

心を込めて迎える緑苑祭
本校の緑苑祭は、生徒全員が一丸となって作りあげるものです。そんな緑苑祭を今年も開催できることをとても嬉しく思います。過去2回の緑苑祭を通し、各団体がご来校された方々に楽しい思い出を作っていただけのように、試行錯誤を重ねて、その年を精一杯盛り上げているということを感じました。私は、はじめて実行委員長というまとめる立場になり、昨年度以前の緑苑祭のように盛り上げられるか不安でもありますが、精一杯努力していきます。ぜひ、いらした際には生徒それぞれの努力を優しくご覧いただけると幸いです。緑苑祭までの間、仲間と協力しながら準備を進め、全校生徒が楽しめる緑苑祭をつくり、ご来校された方々にも本校の魅力を感じていただけるよう頑張ります。

緑苑祭 中学実行委員会 委員長

想いを重ね、緑苑祭を彩る。

社会で活躍する卒業生

ブレない軸が導く、
料理家への道

長谷川 あかり さん

Hasegawa Akari

2022年 家政学部

栄養学科 管理栄養士専攻卒業

料理家、管理栄養士。

子役、タレントとして活躍後、大学にて管理栄養士資格を取得。SNSで発表した「素材の味を活かしたシンプルで身体に優しいレシピ」が大きな話題を呼び、瞬間に人気料理家に。著書に『クタクタなからだを動かすスープ』など多数。雑誌、テレビ、企業へのレシピ提供など多方面で活躍中。



講演会レポート
女性未来研究所主催

GRADUATE INTERVIEW

2026年7月2日(木) 15時30分～17時
会場：三木ホール(小講堂)

わたしの生き方 わたしたちの未来

Q 本学に入学したきっかけは？

芸能活動を辞め、その先の進路に悩んだときに将来の夢をいきなり決めるのは難しかったので、まずは学んだことを踏まえて進む道を決めたいと思い、短大に入ることを決めました。

Q 子役タレントから料理家に
キャリアチェンジした経緯は？

小学生の頃から芸能活動をしていましたが、高校生以降は仕事が減少しました。22歳で結婚を機に芸能活動を引退し、夫と話し合い、短大に入ることを決め、その後、大学に編入し、大学3年生の頃、自身の経験から「趣味と義務の間を埋める家庭料理」という課題に取り組みたいと考え料理家を目指すようになりました。

Q 本学で学んで今に活かしていることは？

本学で学んだことは、全部、役に立っています。本学在籍時に使用した教科書は全部捨てずに取っていました。例えば、食中毒を出したら取り返しのつかないことになるので、微生物学の授業で学んだことはかなり役に立っています。また、レポートを作成するときの確かなエビデンスの見つけ方、健康な人に対してもより健康への意識を高めてもらうための食生活の考え方、大量調理をするときの蒸発率など、どこで何が生きてくるかわかりません。

学生へのメッセージ

将来やりたいことが今はつきりと決まっていなくても大丈夫です。まずは目の前の学びに向き合うこと。そこで得た知識や経験は、思いがけないところで自分の支えになります。いつかやりたいことが見つかった時、これまで積み重ねてきたことがきつとあなたの力になってくれると思います。



本学卒業生で人気料理家の長谷川あかりさんによる講演会が開催されました。タレント活動を経て本学へ入学したきっかけや、料理家へのキャリアチェンジの舞台裏、そして現在も日々の仕事に生きる大学での学びとは――

- 講演会に参加した学生の声
- 自分と同じ悩みを抱える人に向けて家庭料理のレシピを発信しているという行動力も印象的だった。経験を自分だけで終わらせず、誰かの役に立てようとする姿勢はとても素晴らしいと思った。(児童学科)
 - 何を自分がやりたいかを明確にされていたことから、自分のやりたいことをするにはどうしたら良いのかそのために考え、行動するというまっすぐやりたいことに向かう姿勢に感動しました。(栄養学科)
 - 料理を作ることが大好きなので、レシピ開発ではどのようなことを考えているのか、また、なぜ料理家になろうと思ったのかを聞くことができて、とても貴重な体験になりました。(栄養学科)



編集後記
長谷川さんはとても明るくポジティブで、学生に向けて力強いエールをいただきました。激動のキャリアを歩む中で長谷川さんが大切にしていた「ブレない軸」が明かされ、参加した学生にとって、自身の将来や学びの価値を再発見する、大変有意義で刺激に満ちた時間となりました。

ヒューマンライフ支援センター 産学連携事業
東京家政大学 × 株式会社日比谷花壇

ニットフラワー 入リブーケ 共同開発

学生の挑戦を、未来へつなげます！

本学と株式会社日比谷花壇による産学連携企画商品「ニットフラワー入リブーケ」が、6月16日(火)より期間限定・数量限定で販売されました。本企画は両者の包括協定に基づき、学生の豊かな発想を社会へ実装するプロジェクトとして実現したものです。

経緯
学生の発想が
商品開発企画に発展
2025年度のアートキャンプで造形表現学科の学生が発想した「ニットフラワー」と造花による装飾空間」に着想を得た日比谷花壇様より、企画のご提案をいただきました。開発にあたっては、服飾美術学科の大塚有里教授による指導・監修のもと、共創デザイン学部が制作を担当。父の日の贈り物として「憧れ」の花言葉を持つひまわりと爽やかなブルーのデイジーの2種類を、一つひとつ丁寧にかぎ針で編み上げました。



ひまわりの製作



デイジーの製作



【指導・監修】
家政学部・共創デザイン学部
服飾美術学科
教授 大塚有里
【製作者】
現同学部 服飾美術学科・
造形表現学科
学生32名



Hibiya-Kadan Style アトレヴィ大塚店への見学

学生の学び
発想から製作、プロの評価までを網羅するPBL
本プロジェクトは、産学連携によるPBL(課題解決型学習)の環として実施されました。学生たちはアイデアの提供から実際の製品製作を手掛けたほか、一部の学生は販売店舗を見学し現場の様子やスタッフの話を伺う機会も得ました。また振り返りの会では、販売実績や企画評価などの具体的なフィードバックをいただき、ものづくりが商品として届くまでのプロセス全体を学ぶ貴重な機会となりました。



企業の方による振り返りの会

お客様の反応
企業による成果

納品したニットフラワーひまわり100本・デイジー100本は、完売。プレスリリースの閲覧数は、通常の3倍を記録し、メディアからの注目も得られました。お客様の反応から、時間が経っても思い出として残しておける花として、今後ドライフラワーと人気を二分できる可能性がある等の評価をいただくことができました。

商品名：ニットフラワー入リブーケ
価格：2,200円(税込)
内容：ニットフラワー(ひまわり、またはデイジー)1本+旬の生花
販売：2026年6月16日(火)～6月21日(日)

展開店舗：8店舗
・Hibiya-Kadan Style アトレヴィ大塚店
・Hibiya-Kadan Style シャポー本八幡店
・Hibiya-Kadan Style シャポー小岩店
・Hibiya-Kadan Style ジョイナステラス二俣川店

・Hibiya-Kadan Style 相鉄ライフ三ツ境店
・Hibiya-Kadan Style 経堂コルティ店
・Hibiya-Kadan Style 小田急鶴川店
・Hibiya-Kadan Style 海老名店

FILE 02

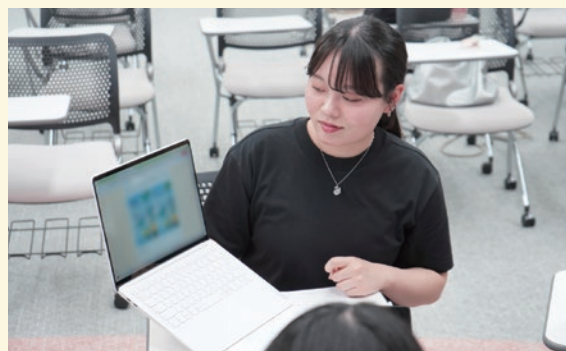
人文学部
英語コミュニケーション学科

学科HP

世界のいろいろな英語と
国際コミュニケーションの
あり方を探るゼミ

三宅 ひろ子 先生

World Englishes (世界のさまざまな英語) をテーマに、英語を単なる“言語”としてではなく、世界の多様な文化や社会と結びついたものとして学びます。



多様な英語を探究する

学校教育のなかで触れてきたアメリカ英語やイギリス英語といった、いわゆる「ネイティブの英語」だけではなく、「ノンネイティブの英語」の実態についても研究します。そのなかには、日本人がどのように英語を使ってきたのか、そして、どのようにつきあっていくべきかといったトピックも含まれます。

3年次には、文献探しやディスカッションを通して、「研究とは何か」を徹底的に考えます。やみくもに情報を集めるのではなく、自分で立てたリサーチクエスチョンや仮説を検証するために文献を読み進めます。しかし、調べれば調べるほど新たな疑問や課題が見つかることも少なくありません。そのため、リサーチクエスチョンや仮説を



何度も見直しながら研究を深めていきます。自分で問いを立て、根拠をもとに考え続けることは決して楽ではありませんが、その過程こそが研究の醍醐味です。

4年次には、自分の研究を卒業論文や卒業研究、またはポスターとして形にまとめます。アンケート調査を行う場合には、まずゼミ生や身近な人を対象に予備調査を行い、質問項目や選択肢が適切かどうかを検証します。その結果を踏まえて修正し、本調査へと進みます。学生からは「アンケートを作成することは思っていたよりずっと難しい」という声もよく聞かれます。

全体を通して見ると、頭の中では理解していることを言葉にし、他者に伝える形で表現することの難しさや向き合いながら、考え、悩み、対話を重ね、一歩ずつ成長していくゼミです。



FILE 01

児童学部
初等教育学科

学科HP

情報教育ゼミ



天野 美穂子 先生

小学校の情報教育に関する研究を行っています。



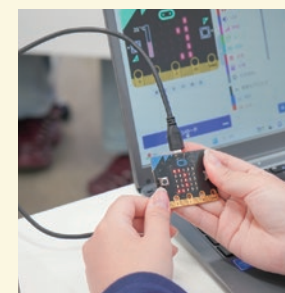
デジタル時代の教育を考える

2020年度に小学校で必修化されたプログラミング教育の他、情報モラル教育(ネット上での適切なコミュニケーション、個人情報の扱い方等)、メディア・リテラシー、各教科でのICTの有効的活用方法等について、現在の小学校現場で課題となっている点を改善できるような教育方法の検討を主な研究テーマとしています。

3年次のゼミでは、専門分野の文献を読むだけでなく、情報の収集方法や文献からの引用の仕方、論文の構成等、卒業論文の執筆に向けて必要なアカデミックスキルも身につけていきます。また、プログラミング教材や生成AIなどに実際に触れ、その楽しさや難しさを経験する機会も多く設けています。少人数のゼミのため、難しいプログラミングやPC操作も、皆で協力し合いながら、和やかな雰囲気を取り組んでいます。また、学生は、そうした実経験を通して自身の卒業論文のテーマを決定するケースも少なくありません。



4年次のゼミでは、本格的に卒業論文の執筆に取り組みます。毎週、自身で執筆を進めた部分について発表を行い、それについて教員からフィードバックをするほか、学生同士でも互いにアドバイスをし合います。そこから新しいアイデアが生まれることも多いため、学生の意見交流は教員の私にとっても学ぶところが大きいです。卒業論文の執筆は、学生にとっては初めての長文執筆の経験であり、苦しいこともあると思いますが、学生が自身の関心のあることについて探求することの楽しさを知ることができるような機会にしていきたいと考えています。そして、卒業後に、小学校教員として子ども達にも学ぶことの楽しさを伝えていくことを期待しています。



FILE 04

健康科学部
リハビリテーション学科



応用心身制御学： 発達部門ゼミ



東恩納 拓也 先生

発達領域の作業療法に関する研究を行っています。



作業療法士になると、明らかに必要のないことばかりの世界へ飛び込みます。ゼミ活動を通して、子どもたちや家族により良い支援を届けられる作業療法士を目指して学んでいます。

作業療法で子どもの育ちを支える
発達領域の作業療法では、子どもたちがその子らしく生活できるように、生活動作の獲得や集団適応のサポートなど様々な関わりを行います。ゼミでは、学生一人ひとりの興味や関心をもとに研究テーマを決め、学内施設や教員のネットワークを活用しながら研究活動を進めています。これまでに、「神経発達症児に対する集団作業療法の効果に関する研究」、「児童発達支援事業所におけるICTの活用が職員に及ぼす影響」、「重症心身障害児者と家族間のコミュニケーションの工夫に関する研究」などをテーマに、横断調査や介入研究に取り組んできました。卒業研究のテーマによっては、実際に子どもたちやご家族と関わらせていただくこともあります。実際に対象者と関わることで、研究目的の理解を深めたり、作業療法士としての関わり方を学んだりすることができています。また、卒業研究の成果をもとに、卒業後の学会発表や論文執筆に繋げる取り組みも行っています。学部生だけで研究活動を終わらせるのではなく、卒業後も対象者のために探究活動を継続していくことの重要性を伝えています。作業療法士になると、明らかに必要のないことばかりの世界へ飛び込みます。ゼミ活動を通して、子どもたちや家族により良い支援を届けられる作業療法士を目指して学んでいます。



FILE 03

子ども支援学部
子ども支援学科



乳児保育学ゼミ



細井 香 先生

0・1・2歳児の発達や子育て支援について、実践を通して学んでいます。



親子に寄り添う実践保育
ゼミでは、乳児の発達理解や保育環境、親子支援について学ぶだけでなく、保育園や母子生活支援施設、地域の親子と関わる活動にも取り組んでいます。これまで、親子向けイベントの企画・運営や、発達に合わせた遊びの提案、手づくりおもちゃ製作などを行ってきました。さらに今年度からは、学内の「かせい森の子育てひろば」と連携し、地域の0・2歳児とその保護者を対象とした子育て支援活動を展開しています。ベビーマッサージ教室や親子遊びなどを学生が企画・運営し、親子と継続的に関わる中で、一人ひとりの子どもの発達を理解するとともに、保護者の思いに寄り添う支援について実践的に学んでいます。加えて、清水ゼミとのコラボ企画として、畑活動もスタートしました。保育園の子どもたちと一緒に野菜を育て、収穫や自然との触れ合いを通して、食や暮らし、地域とのつながりを学びながら、子どもの育ちを支える環境について考えます。実際の親子や子どもたちと関わりながら、「子どもを支える力」と「保護者に寄り添う力」を実践的に学び、保育の専門性を深めています。



こどもと共に成長する

かせい森のおうちは、2014年に狭山市の認可保育園として開園しました。「こどもにとって保育園はもう一つのおうち」。保護者の皆様との信頼関係を大切にしながら、こどもたちが安心とやすらぎを感じ五感をフルにを使って遊べるように環境を整え、日々の保育を行っています。広いキャンパスの中、春は大学内にある梅の実を使った梅シロップ作り、秋はどんぐりや松ぼっくりを使ってごっこ遊びと自然いっぱいの環境の中で五感を刺激する様々な経験をしています。そして、当園のもう一つの特徴は学生との交流が盛なことです。月一回の学生との造形遊びや音に親しむ表現遊びもこどもたちの楽しみの一つです。また、学生ボランティアも積極的に受け入れており、学生サークルのコンサートや絵本の読み聞かせボランティア等、こどもにとって学生は「歳の離れた最高のお友達」、学生にとってこどもたちは「教科書では学べない気づきを与える」存在となっています。

狭山キャンパスへお越しの際は、ぜひお立ち寄りください！



真剣な眼差し(虫探し)



学生との交流(クリスマス・コンサート)



小さな木の実



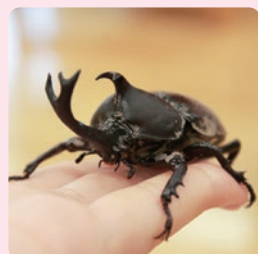
大きな切り株も絶好の遊び場

こどもの興味と成長を学ぶ

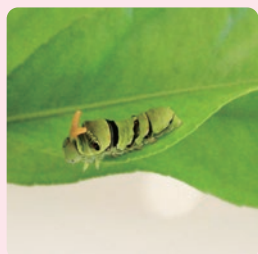
森のサロンには、現在、ウーパールーパー、カブトムシ、アゲハ蝶の幼虫、ドジョウが暮らしています。

こどもたちは、餌やりを楽しみ、蛹が変化する様子やチョウになったアゲハ蝶を観察し、ときにはそっと触れてみるなど、それぞれのかかわり方で小さな生き物との関係をつくっています。保護者の方やボランティアの学生とは、生きものの生態や育て方について盛り上がることも。家政大学という緑豊かなキャンパスの中で、自然の不思議に触れ、おとなもこどもも日々の小さな変化に気づく目やそれを面白がる心を、豊かに育てていきたいと思っています。

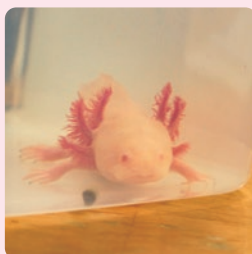
新しい出来事に触れ、興味や関心をふくらませ、それぞれがみている世界が広がっていくこと。そしてそれをみんなで分かち合うこと。これからもこのような環境を大切にしながら、森のサロンに集う地域の親子や学生にとって、居心地がよく、あたたかな空間をつくっていききたいと考えています。



幼虫から育てたカブトムシ



アゲハ蝶の幼虫



ウーパールーパーのめんたいこちゃん

アゲハ蝶の幼虫をみつめるこども

東京家政大学附属みどりヶ丘幼稚園



操縦席のレバーやパイロット専用のスーツケースが置かれ出発準備を整えます

積み木で飛行機ごっこ

附属みどりヶ丘幼稚園では、年長組になると遊戯室で大型箱積み木を使って遊びます。

ここ数年、次の世代へと受け継がれている遊びのひとつに「飛行機ごっこ」があります。

今年もパイロットになりたいこたちが、コックピットのメーターや操縦レバーなど必要なものを画用紙やトイレットペーパーの芯、空き箱を使って作っていきます。段ボール製のスーツケースを傍らに置いて操縦席につく姿はパイロットさながら。数日かけて少しずつ形を変えながら遊びが繰り返される過程で仲間も集まり、イメージはますます膨らみます。客席も広がり、CAも現れ、食事の提供も始まります。今年は客席のテレビ画面も再現されました。中には近くで展開していたお祭りごっこの焼きそばを機内に持ち込んで食すこどもも。遊びの世界はどこまでも自由で柔軟です。

飛行機の羽を再現することになり、保育者が手伝って横向きに積み木を置こうとすると、図鑑と見比べながら「羽は斜めについているよ」とこどもが修正。チェックインカウンターで手荷物を預けてから飛行機に搭乗するイメージも加わりました。工夫を凝らして再現しようとするごっこ遊びを見ていると、こどもたちが身近な生活や社会を魅力に感じ、「いつかは自分も!」という憧れをもって、よく観察していることがわかります。こどもが見つめる社会がより平和で幸せであることを心から願います。



羽が斜めについています



チェックインカウンターで手荷物を預けて、搭乗手続き完了です



「お食事はいかがですか?」



「まもなく出発いたします」機内アナウンスが流れます(客席前の三角の積み木がテレビです)

施設紹介

実践的な学びと充実したキャンパスライフを支える、多彩な施設・設備をご紹介します。板橋キャンパスと狭山キャンパスには、さまざまな学びや交流の場が広がっており、学生からこどもたちまで、多くの人の成長を支えています。



かせい森の子育てひろば

「保育×医療」の視点で支援する地域の子育て

2026年7月、地域の乳幼児とその保護者が安心して集い、交流できる場を提供するとともに、子育てに関する相談や情報共有ができる「かせい森の子育てひろば」を開室しました。子ども支援学科・リハビリテーション学科の共同運営により、教員の専門的知見を活かした資源のリソース、また、両学科の学生がこどもや保護者と直接関わることで、保育・子育て支援に関する専門性を実際に学ぶ学修の場としても活用します。

これらのことによって、地域の子育て支援を推進するとともに、子ども支援学部と健康科学部の教育・研究成果を地域社会へ還元し、授業・演習・学内実習等と連動した実践教育の場として学生の専門的資質及び多職種連携能力を育成していきます。



国家試験支援室



合格への確かな支援

看護師、助産師、保健師、作業療法士、理学療法士の国家試験合格率100%を目指し、2026年7月から健康科学部国家試験支援室を開設しました。支援室は、国家試験対策予備校のプロの講師を招いての対策講座や模擬試験会場(毎週水曜日)等として使用する講義区画、集中して自習でき、教員による個別指導の場でも活用できる自由区画から構成されています。また、学生同士が共同学習の場としても使えるように、大きいテーブルも用意しました。使用時間は、月～土曜、9:00～21:00までで、対策講座・模擬試験実施以外は、全学年の学生が学修の場として使用できますので多くの学生の活用を期待します。

狭山学生ラウンジ

学びと憩いがつながる新空間

後援会からの狭山キャンパスカフェスペース改修の寄付を受け、2号館大講義室前のラウンジが、授業の合間のリフレッシュや自主学習、友人との歓談に活用できるカフェスペースに生まれ変わりました。狭山キャンパスに通う学生の皆さんが集い憩える場所を目指し、ソファや4人掛けテーブル、カウンターを配置し、コーヒーやお菓子の自動販売機、ウォータースタンドを新設しました。ぜひ足を運んでみてください。



DX・AIシミュレーションラボ



先端技術で学びを深める

2026年7月に開設したDX・AIシミュレーションラボは、学生が自由に入出りできる自由区画と、教員の指導のもとDX機器を活用する管理区画から構成されています。自由区画には、バイタルサインの測定や痰吸引、経管栄養などが実施できる多様なシミュレーター機器を配置しており、講義や演習で学んだ技術や知識を学生が主体的に復習し学修を深めることができます。看護学科、リハビリテーション学科、子ども支援学科の学生が共に使用できるスペースとして、学生同士のコミュニケーションを促し、多職種連携への理解も養います。一方、管理区画では、モーションキャプチャシステムやVRゴーグルをはじめとする最新のDX・AI機器を導入しており、教員の指導のもと、先進的かつ高い学習効果を生み出す実践的な教育の場として活用します。

発達支援の実践を学ぶ

わかくさは今年で60年目を迎えます。こどもと保護者が共に通い、学生と一緒に楽しい時間を過ごすことからスタートしました。その当時から目指していることは、「家族支援」です。わかくさでは、こどもと保護者が一緒に楽しく遊ぶことで、様々な表情や姿を見つめ、おこさんの発達状態を保護者が正しく理解し、それに応じたより良い関わりをスタッフと一緒に模索しながら、そのこが自分らしく生きられるよう支援します。

また、学内に児童発達支援事業所があることで、たくさんの学生がわかくさの療育に参加しています。

こどもは一人ひとり違います。一人ひとりを大切にすることはどういうことなのか？こどもに寄り添うとはどんなことなのか？を、考えながら、より深いこどもの理解につなげています。年に2回、スタッフと学生、保護者で実行委員会を作り、「わかくさ会」という同窓会も開催しています。保護者の縦のつながりを作る場であり、学生の学びの場でもあります。わかくさは、こどもはもちろん、大人も学生も育つ場となっています。



児童音楽研究会による「たんぼシアター」の鑑賞



好きな遊びを思う存分！

母子支援を実践で学ぶ

地域の母子の健康を支える産後ケアサロン（法人開設の助産院）は、産後1年未満の母子が利用できます。育児相談、授乳指導、乳房ケアを受けたり、安心して休息を取ることもできるお母さんを応援するサロンです。

看護学生が講義・演習で学んだ知識・技術を活かし、「産後の母子の看護」を体験的に学べる貴重な場でもあります。



相談室の入り口：手作りの看板が目印



相談室：おこさんをお預かりしたり、こども広場としても活用



休憩室：ご要望により乳房ケアやマッサージを実施

東京家政大学ビジョン150

理念

存在意義（パーパス）

行動指針（ミッション）

理念

建学の精神「自主自律」

生活信条「愛情・勤勉・聡明」

存在意義（パーパス）

知と技で自他の可能性を広げ、
人がつながる社会の起点となる。

東京家政大学は、すべての人が自分らしく暮らし、
人生を全うすることができる社会、
人と人がつながる社会の実現に貢献します。

東京家政大学が大切にしているしなやかな知性と実践に基づく専門性は、
自分自身の人生を切り拓くだけでなく、
他者の可能性をも広げることができるものです。

東京家政大学は、すべての人が支え合い、
認め合うことのできる社会に向けて、
自ら最初の一步を踏み出す人を育みます。

行動指針（ミッション）

1. 理念・目的
大学・大学院・短大の理念・目的に即し、必要な改革を断行する。
2. 入学者の積極的な受け入れ
急速に進む少子化・社会の変化を直視し、学ぶ意欲のある多様な学生を積極的に受け入れる。
3. 学習・教育
「人をつなぐ専門力」(専門に関する能力×汎用的能力)の育成に邁進する。
4. 学生支援・キャリア支援
すべての学生がそれぞれの可能性を発見し、伸ばせるよう支援する。
5. 研究活動
教育研究を支える環境や条件を整備し、研究活動を活性化する。
6. 社会連携・社会貢献
地域社会や企業等との連携を通じて、大学の教育研究の成果を社会に還元する。
7. 生涯教育・キャリアアップ
本学の強みを生かし、広く社会人等に対し充実した学びの機会を提供する。

活躍する卒業生

渡邊辰五郎奨励賞



長谷川 あかり 氏

2022年 東京家政大学
家政学部 栄養学科 管理栄養士専攻 卒業

渡邊辰五郎賞



金澤 正美 氏

1989年 東京家政大学
家政学部 栄養学科 栄養学専攻 卒業

渡邊辰五郎賞・渡邊辰五郎奨励賞は、日本近代の
黎明期である明治時代の教育家として評価されて
いる校祖渡邊辰五郎の偉大な業績を讃え、後
世に伝えるため、創立130周年を記念して創設し
ました。「渡邊辰五郎賞」は、東京家政大学の建

学の精神である「自主自律」に相应しく、社会で
の長年の活躍が評価され、大いなる貢献をした卒
業生を称えるものであり、「渡邊辰五郎奨励賞」は
社会での活躍が著しく、今後の活躍が期待され、
本学の栄誉を担う卒業生を称えるものです。

第15回渡邊辰五郎賞・渡邊辰五郎奨励賞贈賞式が5月28日(木)に執り行われました。
贈賞式では、表彰状と副賞、記念メダルが授与され、受賞者による記念講演も行われました。



2026年5月28日(木)
渡邊辰五郎賞・
渡邊辰五郎奨励賞
贈賞式

TOKYO KASEI PRESS Vol.108

学校法人渡辺学園 広報誌なでしこ

令和8(2026)年9月発行

編集・発行 学校法人渡辺学園 広報・宣伝部
〒173-8602 東京都板橋区加賀1-18-1
TEL 03-3961-5690
デザイン SS Design
印刷 上毛印刷株式会社



TOKYO KASEI PRESS
バックナンバー



TOKYO KASEI PRESS
Vol.108
アンケート
ご協力をよろしくお願いします！



Instagram

本学の魅力や最新情報を発信中！
“フォロー”や“いいね”
よろしくお願いします！

掲載希望の記事がありましたら、広報・宣伝部にご連絡ください。

